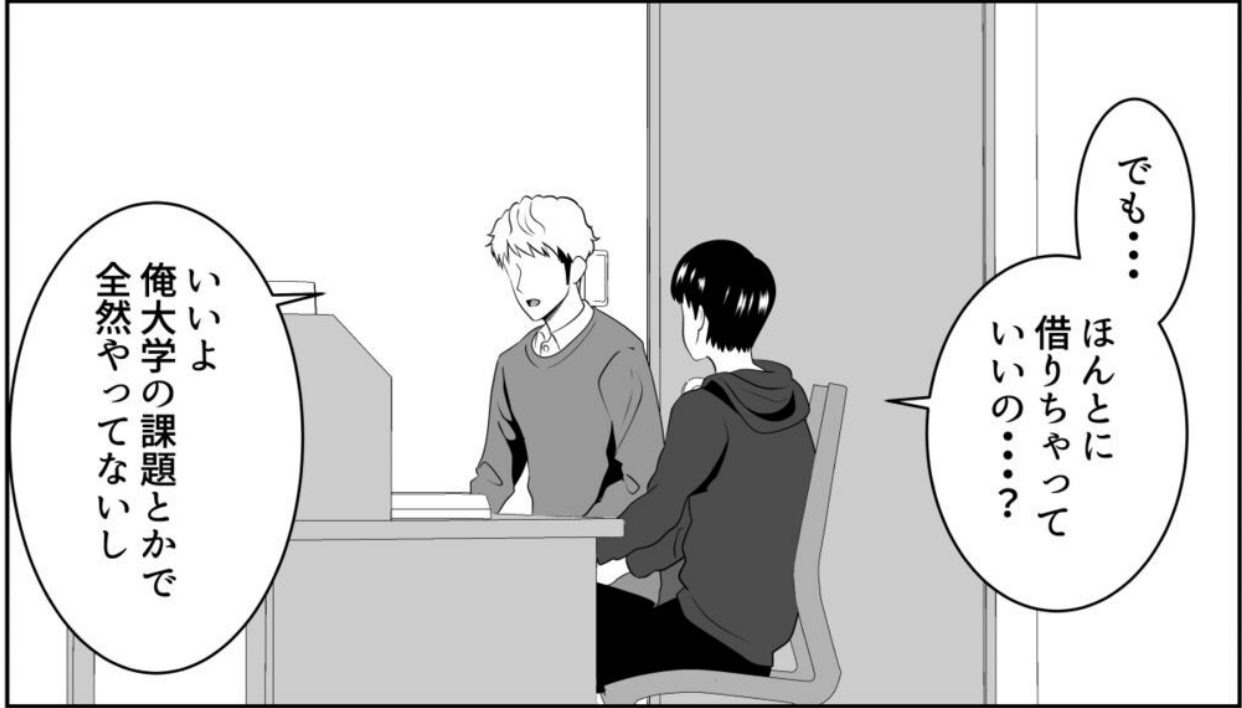


マジで
持ってきて
くれたんだ

わあ！

これは
いい



いいよ
俺大学の課題とかで
全然やってないし

ほんとに
借りちゃって
いいの……？

でも……



隠せ隠せっ

コンコン

やべつ
母さんだ……

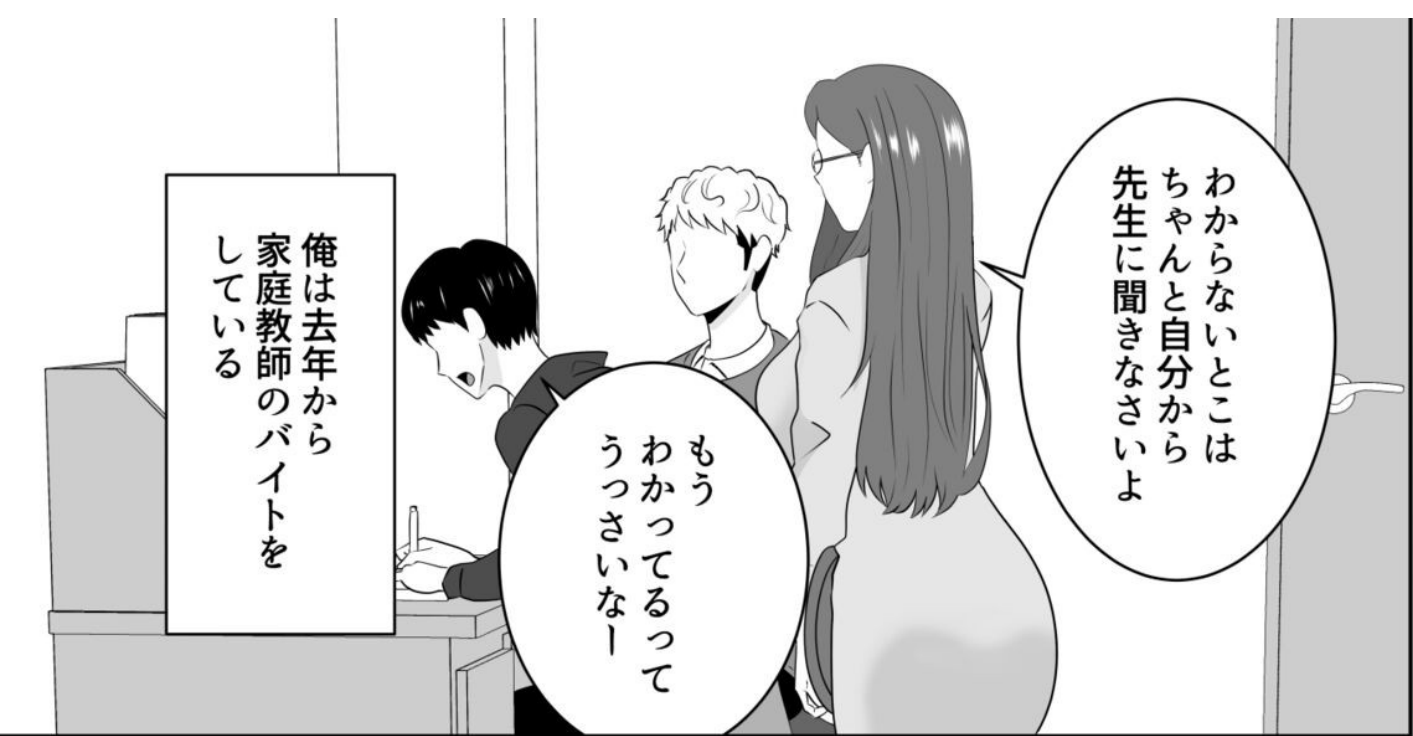


あ

でも約束な
勉強はちゃんと
すること！

うん！
わかってる

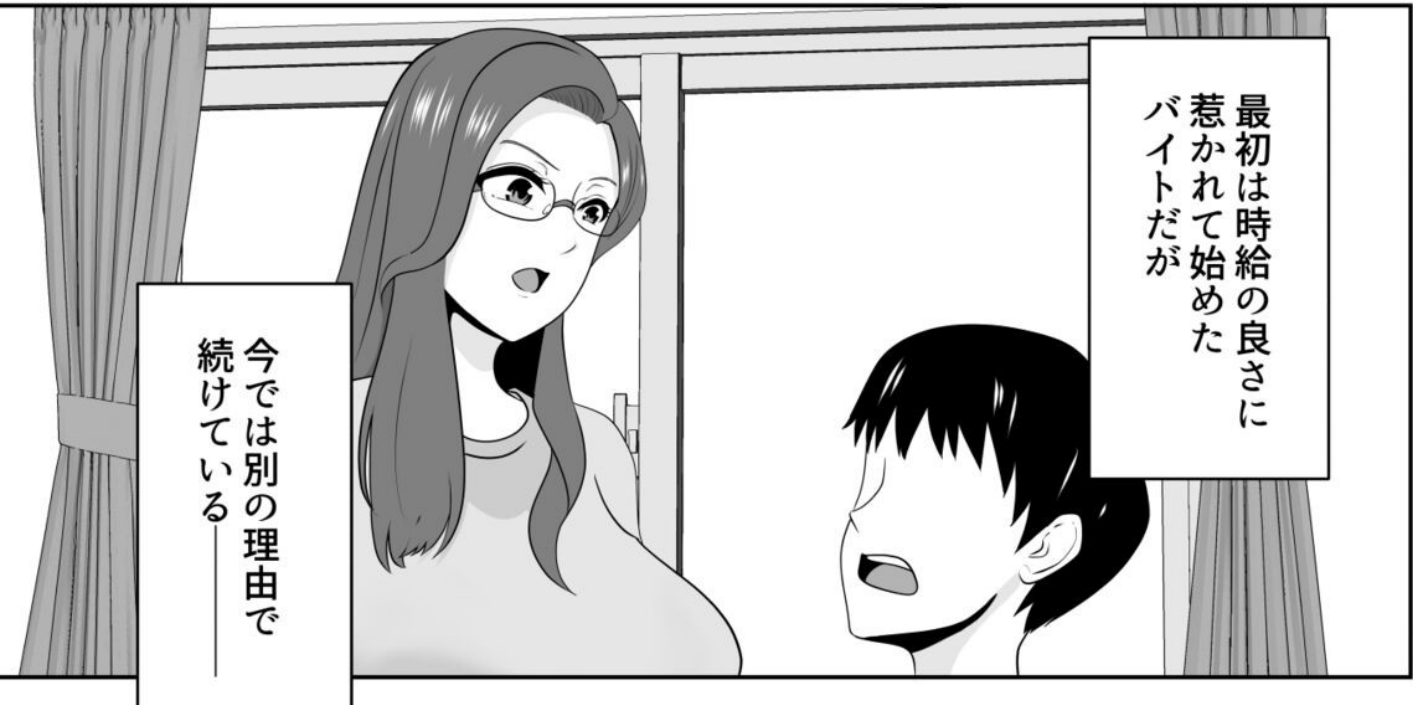




俺は去年から
家庭教師のバイトを
している

もう
わかってるって
うっさいなー

わからないところは
ちゃんと自分から
先生に聞きなさいよ



今では別の理由で
続けている

最初は時給の良さに
惹かれて始めた
バイトだが



はい



それじゃ先生
お願いします



ねえ 奏多君・・・
前にも言ったけど
お金なら私が出すから

うちの子だけの
家庭教師に
なつてよ



すみません
嬉しいお誘い
なんですけど

俺もつと多くの
子に勉強教えて
上げたいんで

んぷっ♡

んっ...♡

じゅるるっ♡

じゅぽっ

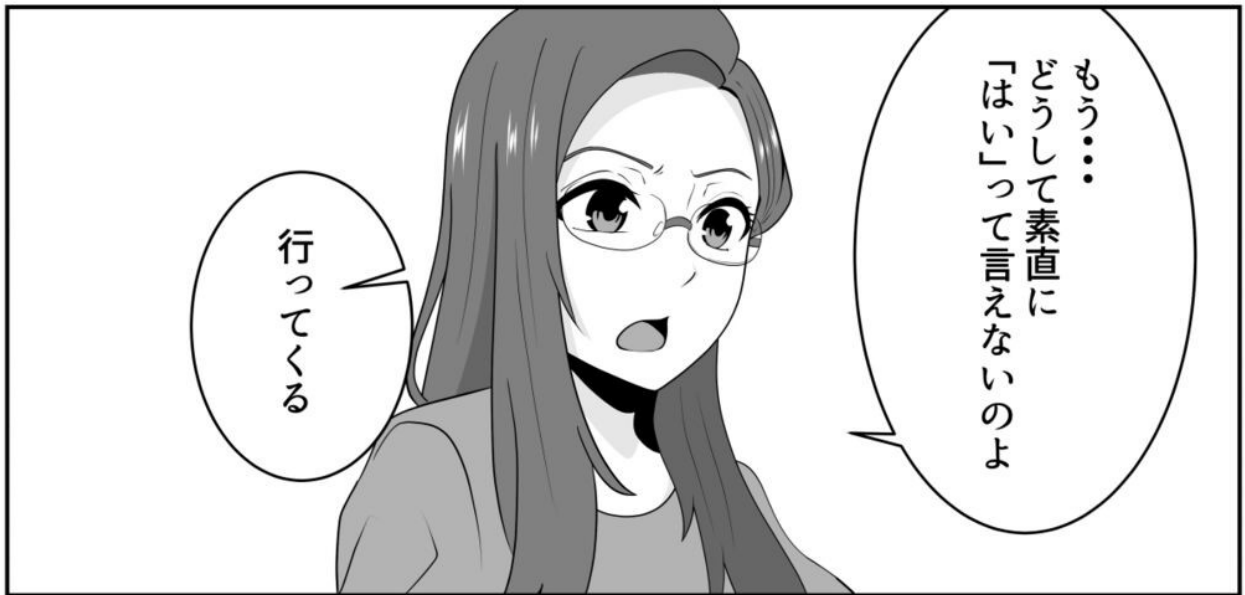




智樹
あなた
受験生なのよ

早く起きて
朝少しでも
勉強しなさいよ

…わかってるよ



もう…
どうして素直に
「はい」って言えないのよ

行ってくる



夕ご飯

夜もいい

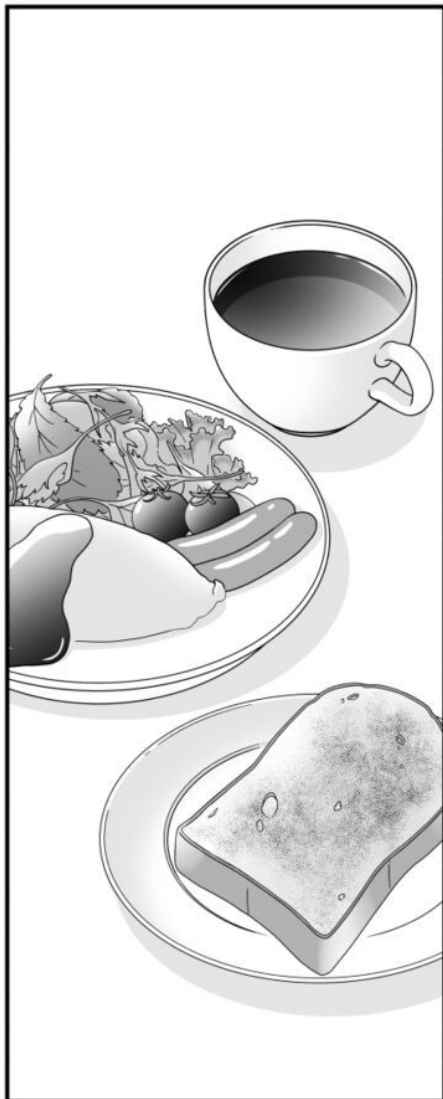
今日も遅くなる



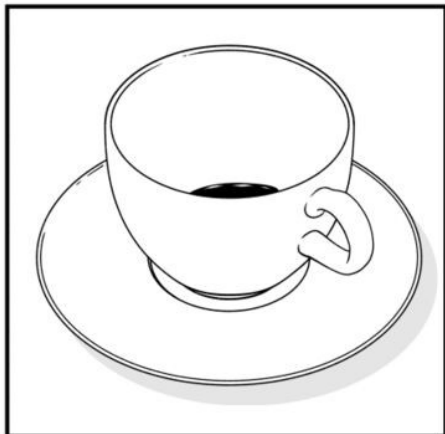
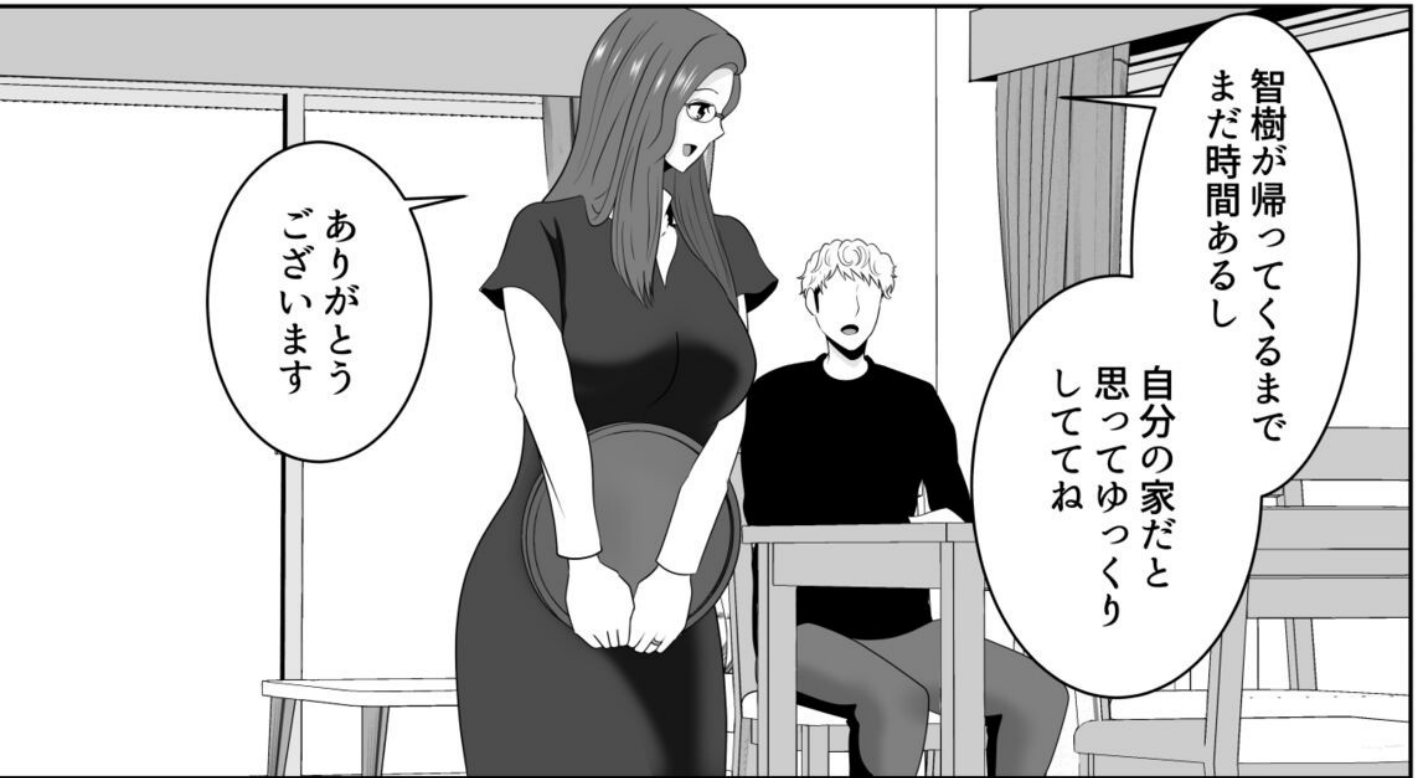
アナタ
朝は…？

いい
適当に済ます

ハハハハ

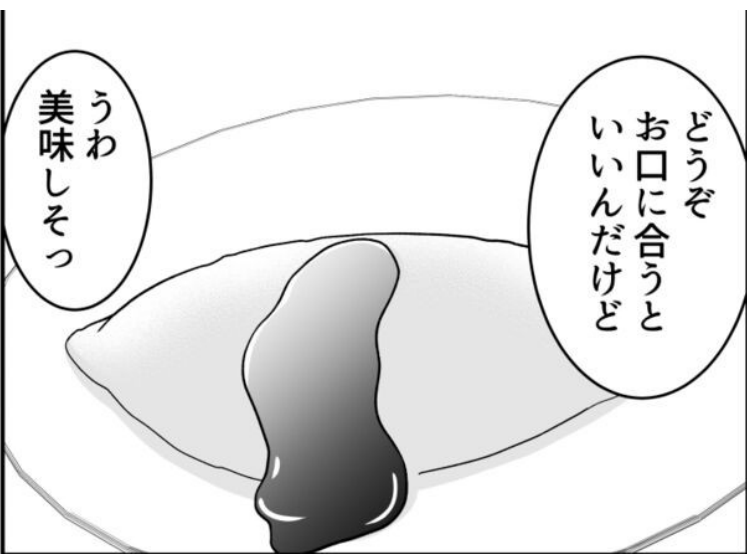








いただきます



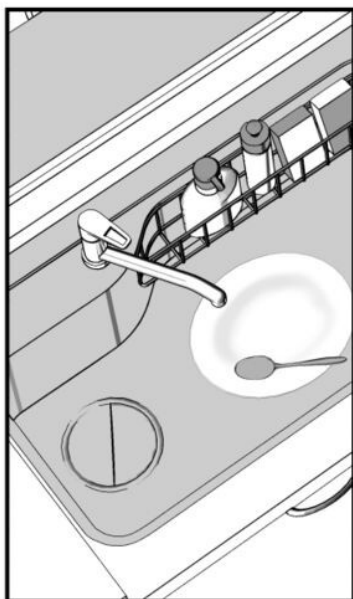
どうぞ
お口に合うと
いいんだけど

うわ
美味しそっ

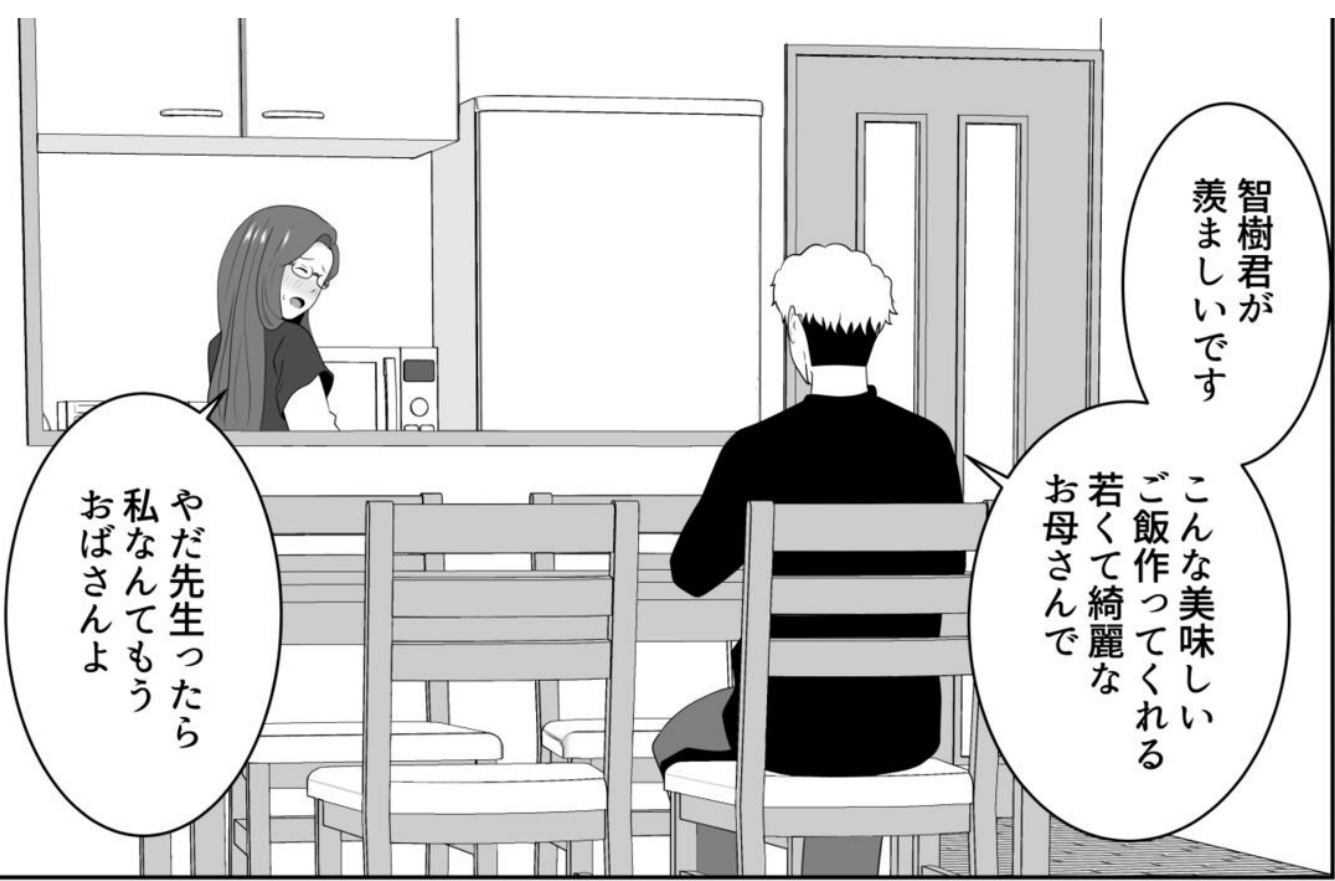


ほんと?
お口に合ったみたいで
よかったあ

うまっ!
めちゃくちゃ
美味しいです



美味しいなんて
言ってもらえたの
いつ以来かしら...



智樹君が
羨ましいです

こんな美味しい
ご飯作ってくれる
若くて綺麗な
お母さんで

やだ先生ったら
私なんてもう
おばさんよ



お姉さんだなんて……
おばさんを
からかわないでよ……



全然見えないですよ
最初なんて智樹君の
お姉さんかと
思いましたし





せ……
先生……

俺初めて
会ったときから
お母さんのことが
気になってたんです



俺と付き合っ
てくれませんか？

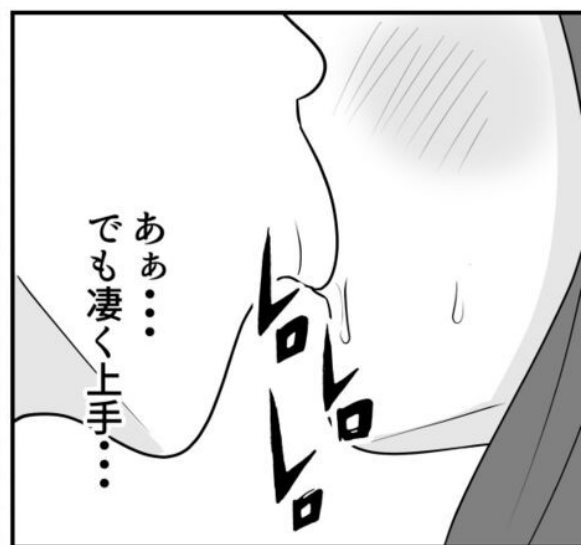
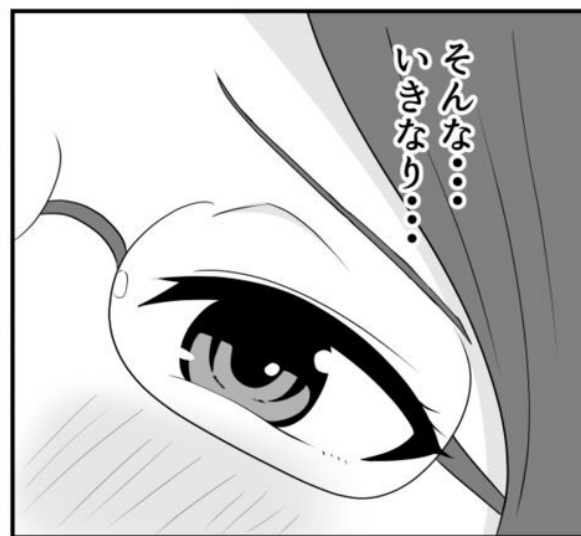
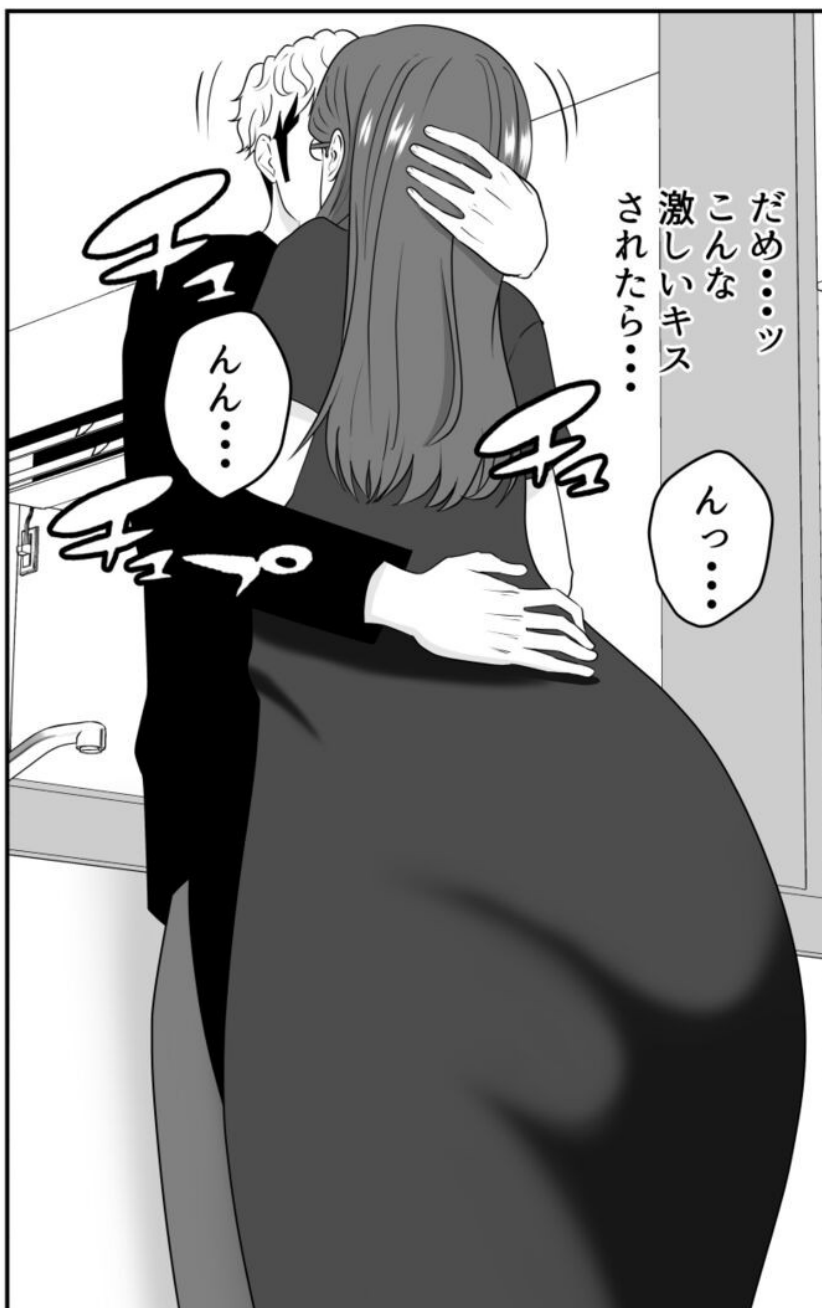
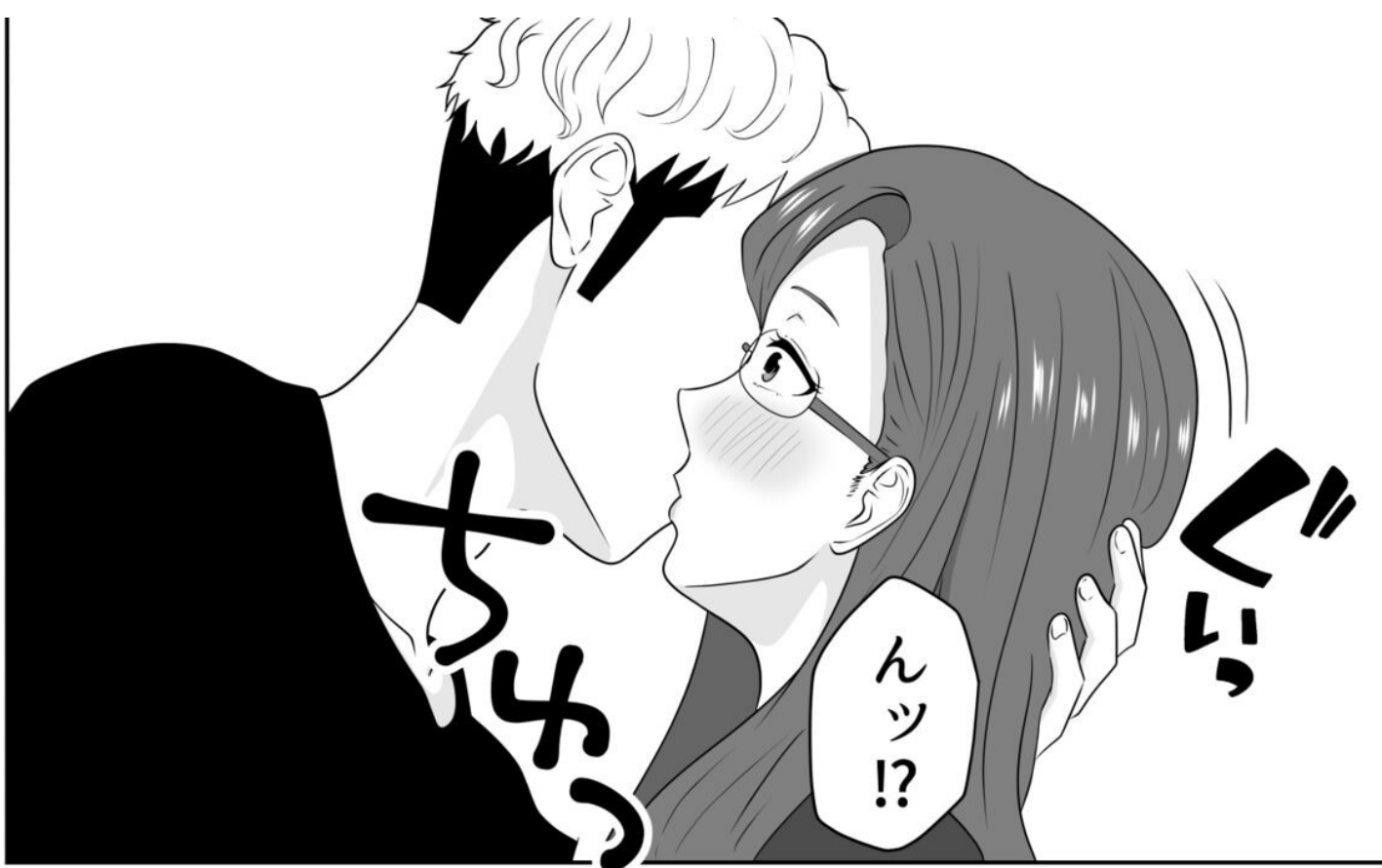
そ そんなの……
私結婚してるのよ……



からかったわけじゃ
ないですよ

え……!?

ずっと
素敵な人だなんて
思ってたから





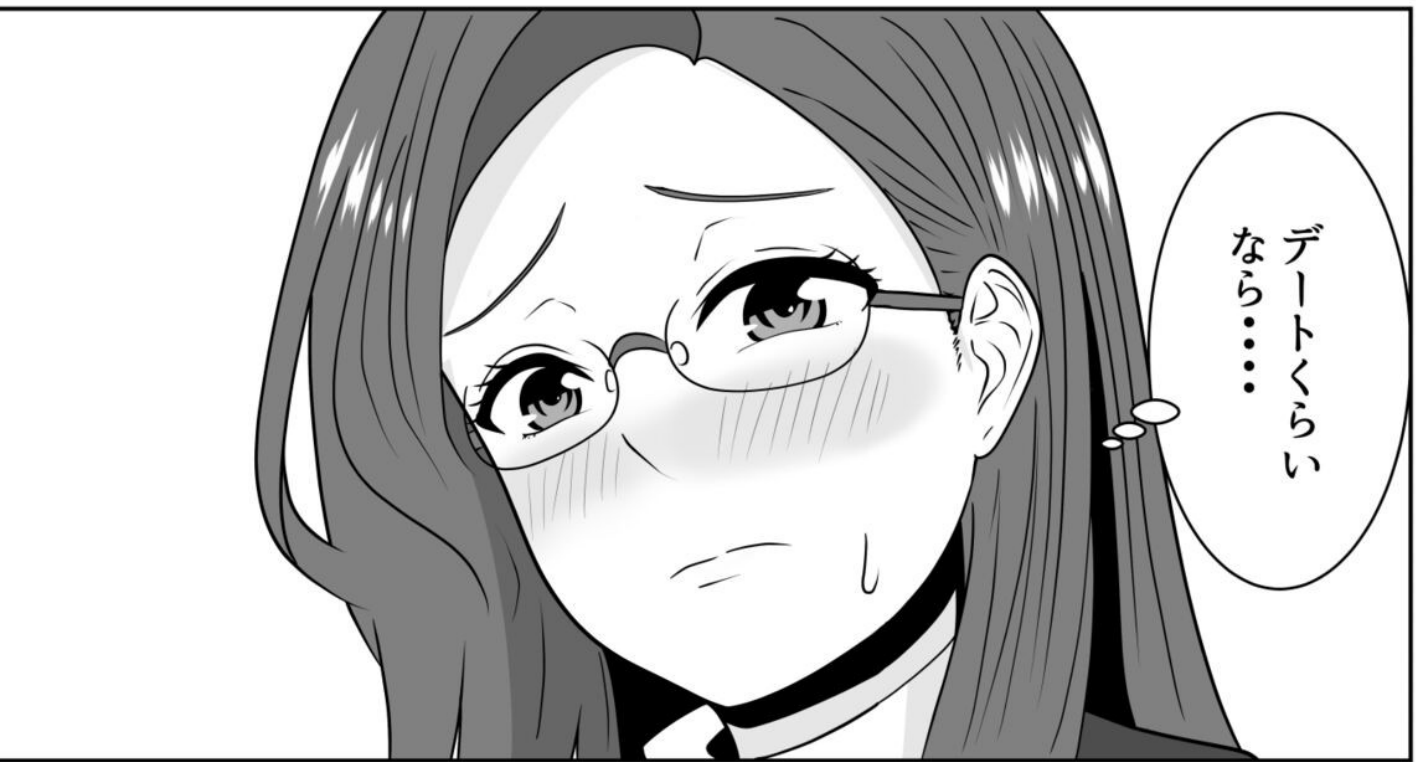
じゃあ今度
一日だけデート
してくれませんか？

俺それで
諦めるので



ま 待って…

これ以上は…
智樹だって
そろそろ…



デートくらい
なら…



…いいよ

でも約束よ
一日だけ…

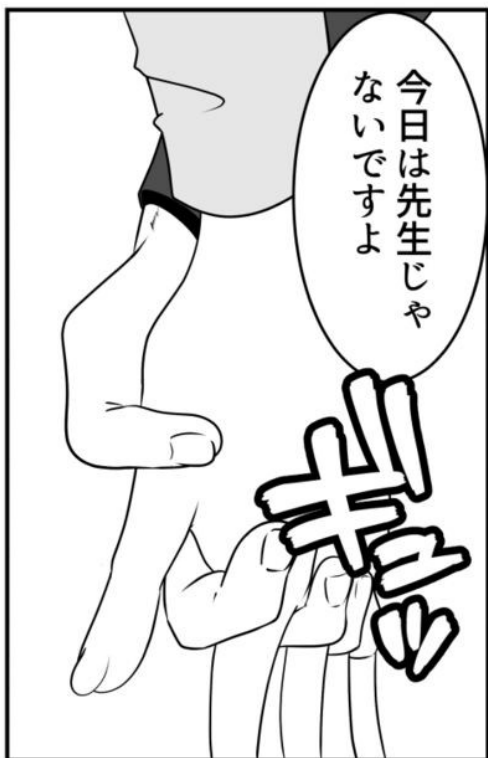


ごめんなさい
待ちました？



いけない事って
わかってる…

だけど久しぶりの
デートに少し
浮かれてしまってる



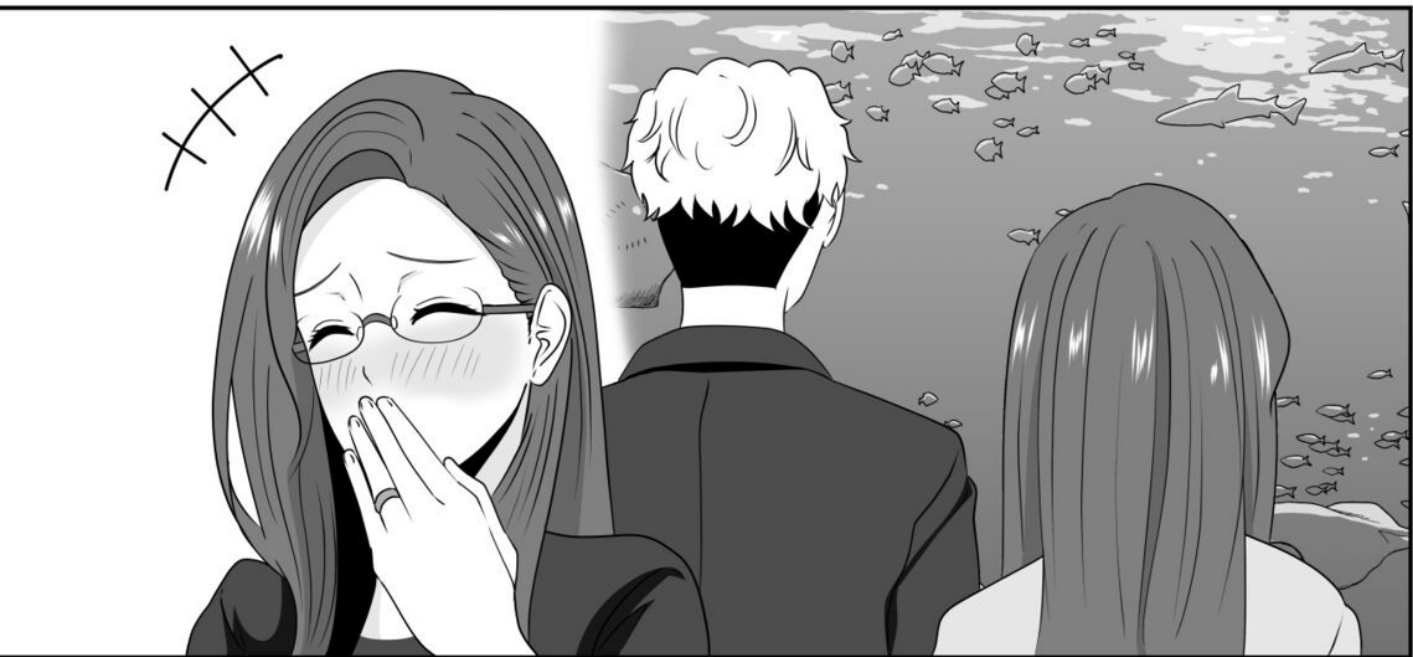
今日は先生じゃ
ないですよ

ドキ



何着て行くかで
すごく悩んじゃって

ふふっ
先生は普段から
おしゃれだし
気にしなくていいのに





っしやあ!





いいなー
俺も大画面で
時間気にしないで
やってみたいなー



じゃあ
今度俺が時間
作ってやるよ

え？
まじで？

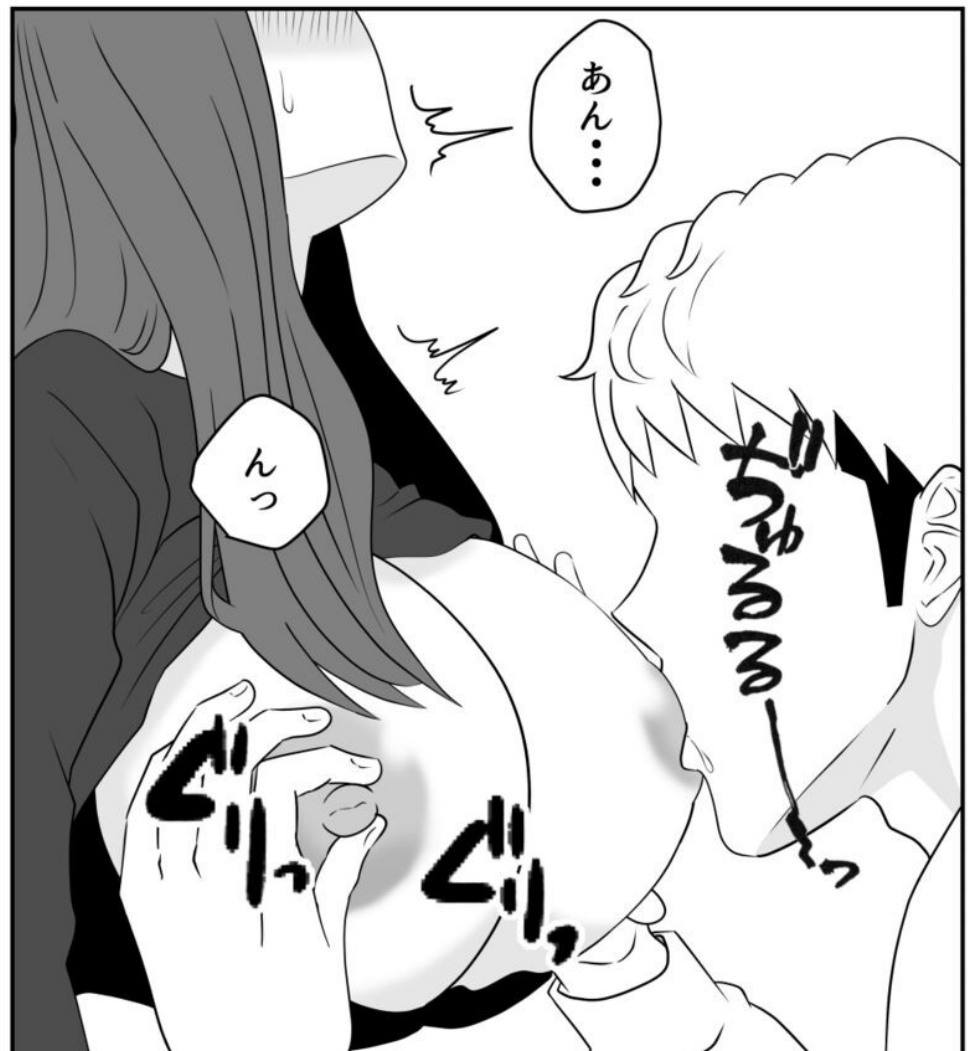


ありがとうございます
先生
!!

カキ
カキ

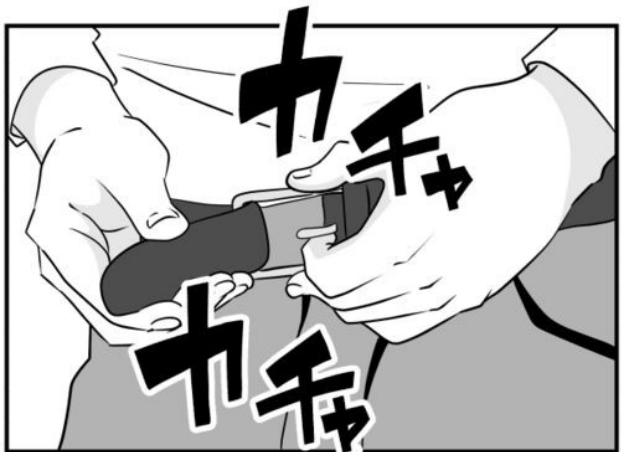


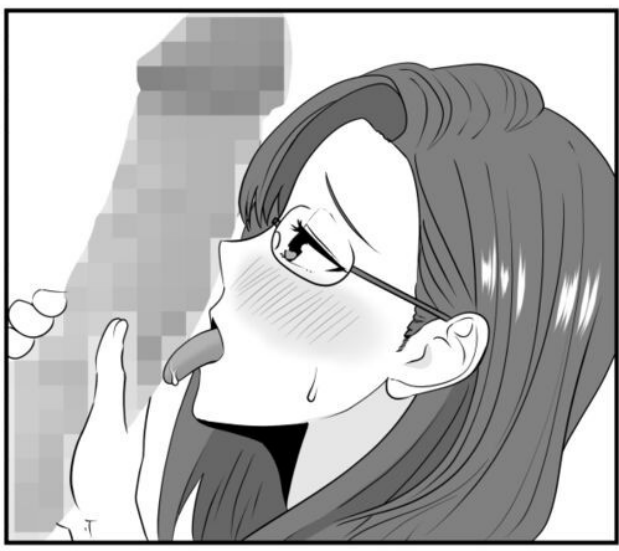
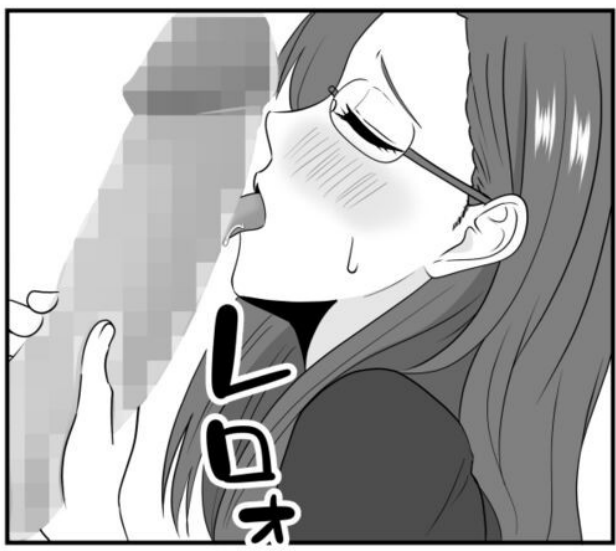
智樹のお母さん
上手いこと外にでも
誘ってやるよ

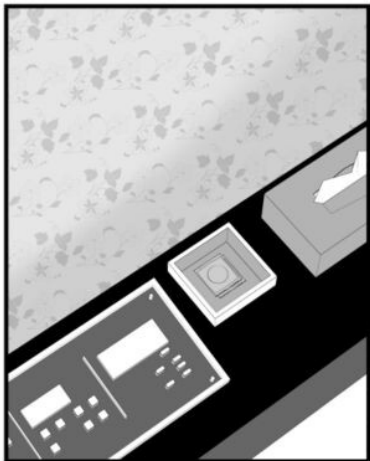


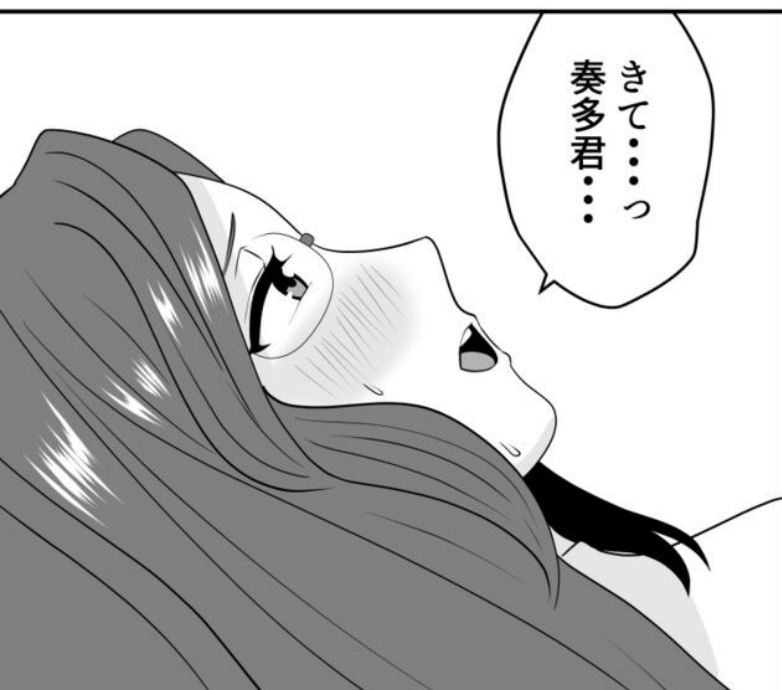
















あんっ

あっ

何これ...ッ

あぁ

こんなに
感じるの...
初めて...っ

110
110
110



あぁ

そんな...
恥ずかしいこと
言わないで...

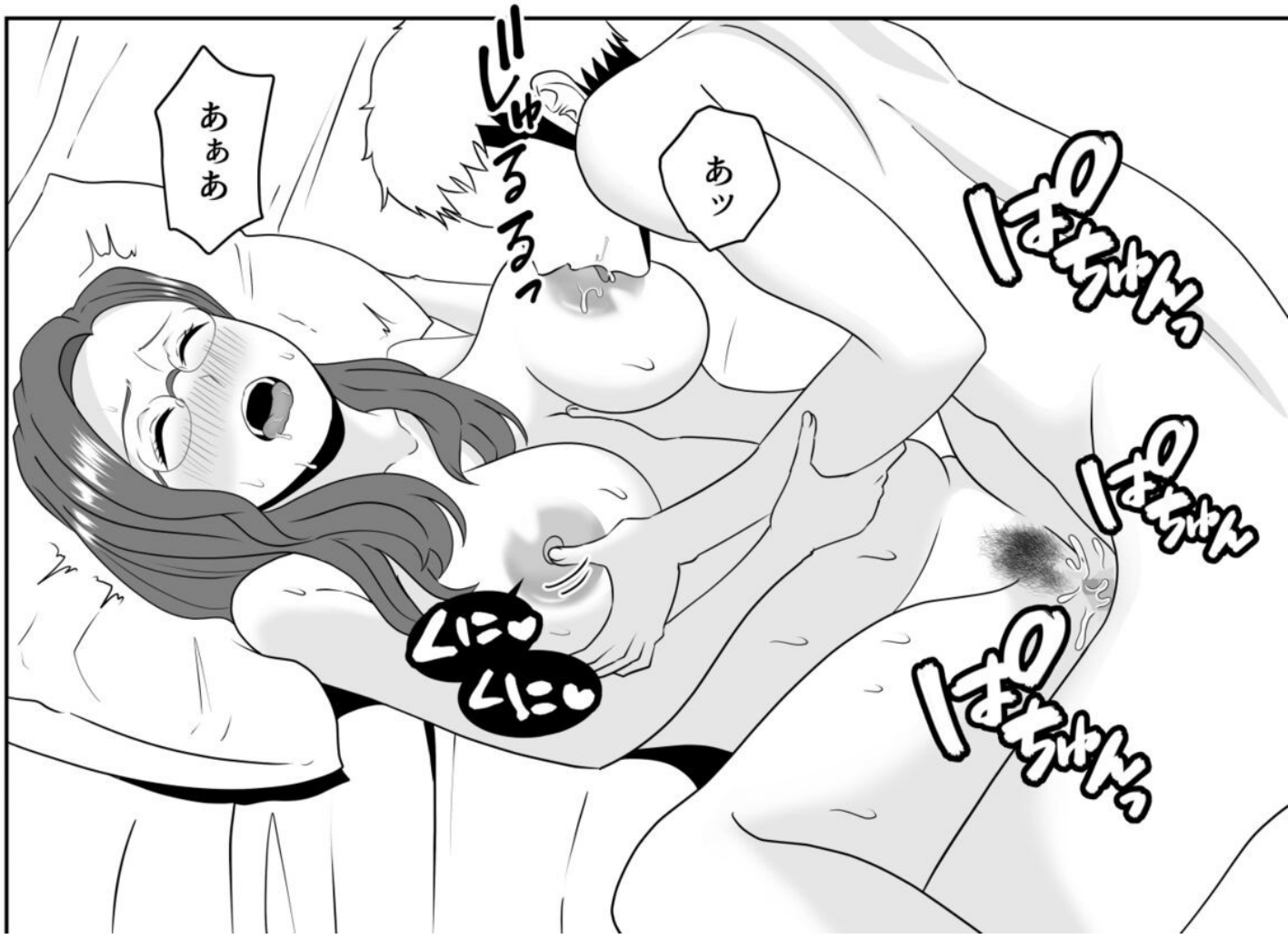
ゆりさんの中
すごいトロトロ
ですよ

1Pチュ

1Pチュ

1Pチュ

1Pチュ







んああああっ

はあああ

ビクッ





あぁ...あぁっ

あぁ...

ひっ

ひっ

あぁ

あぁ



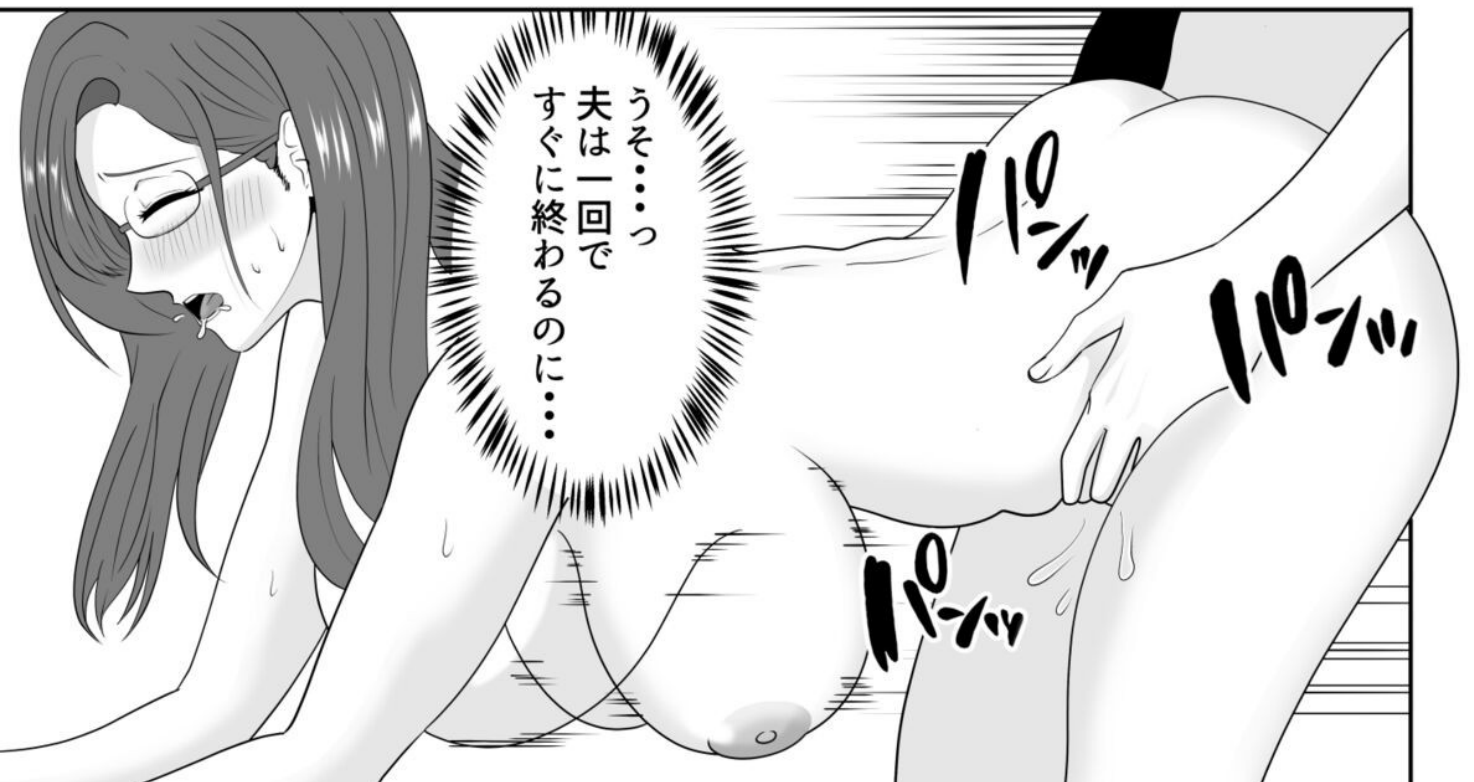
はっ

はぁ

はぁ...



ゆりさん
今度はお尻
突き出して







あつ

あつ

その日は何度も
絶頂を迎え

あつ

あん

私の身体は奏多くんに
触れられる度に熱くなり
女としての悦びと快楽が
目覚めていくのを感じた...

あつ
あん

あつ
あん



約束通り
奏多君は何事も
なかったかのように

家庭教師として
接してくれている



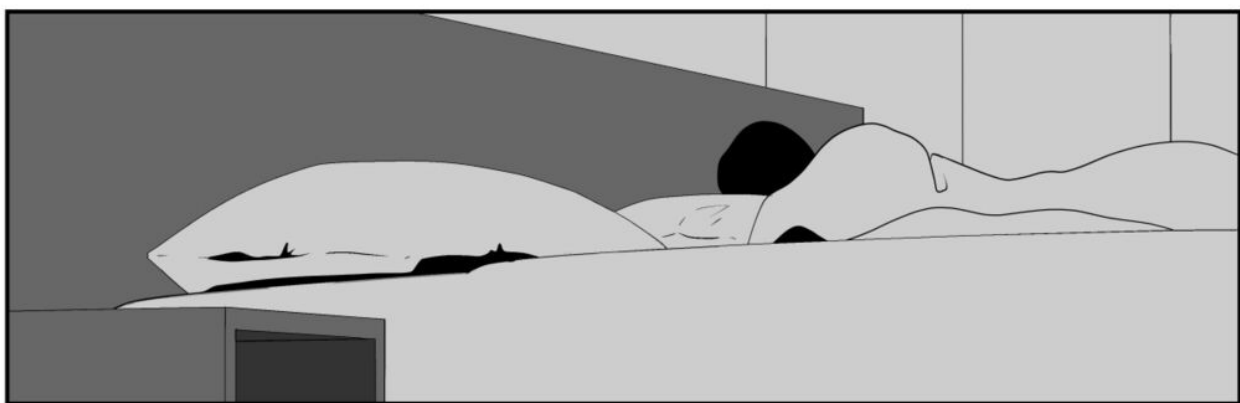
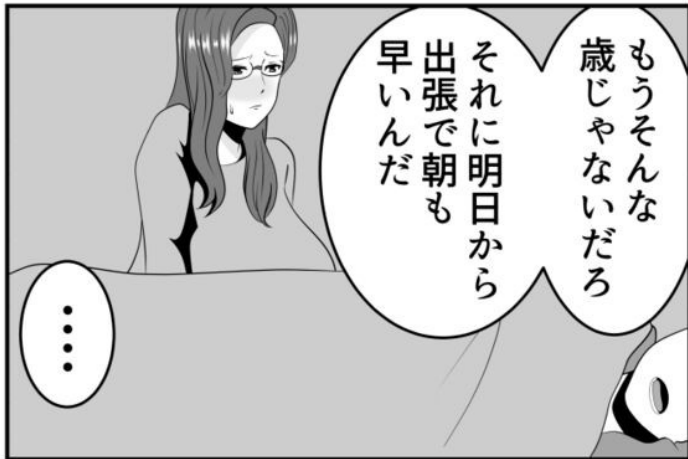
あれから数日が
経過し



私は……



だけど……







もっと
奏多君のが
欲しい……

ビクッ

んんッ

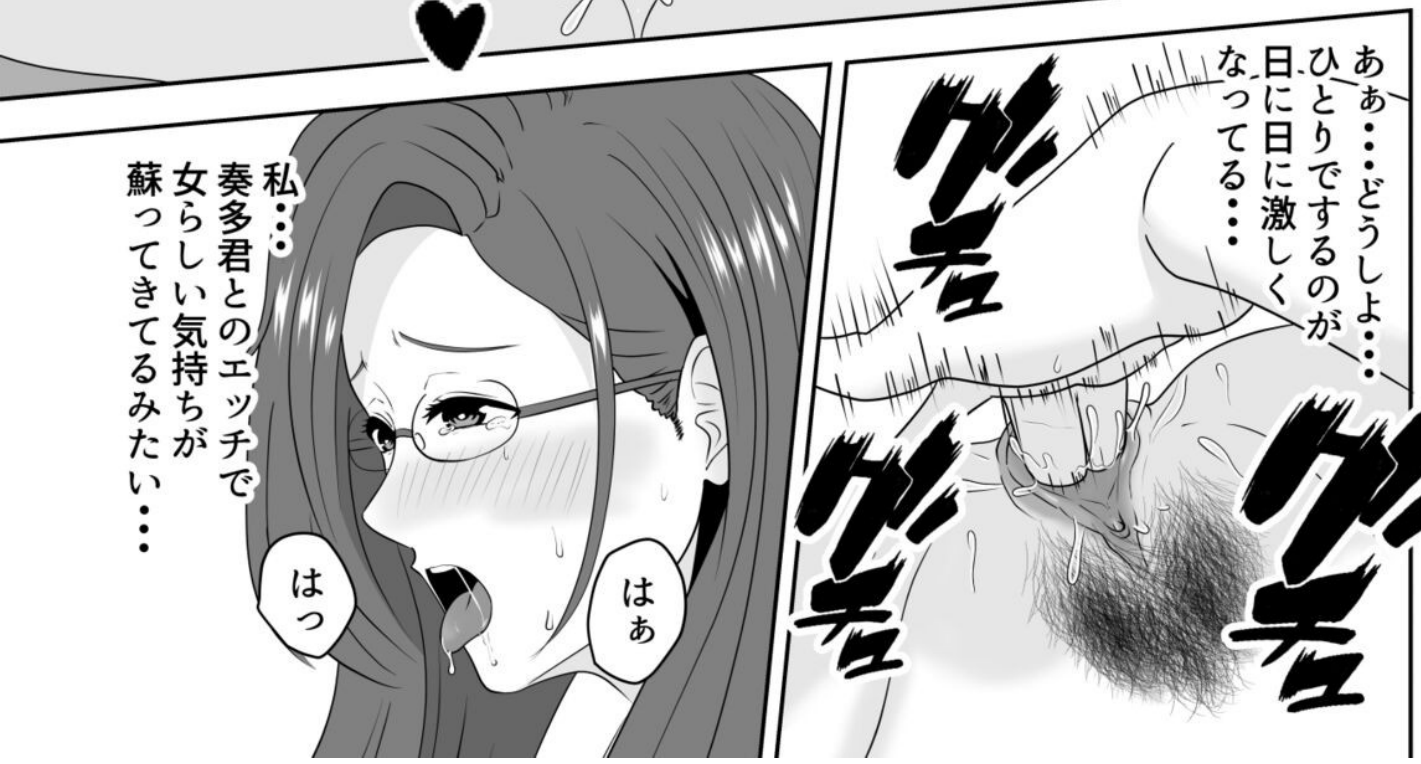
ビクッ

キュッ
キュッ
キュッ

キュッ

キュッ

キュッ
キュッ



ああ……どうしよ……
ひとりでするのが
日に日に激しく
なってる……

ガッ

ガッ

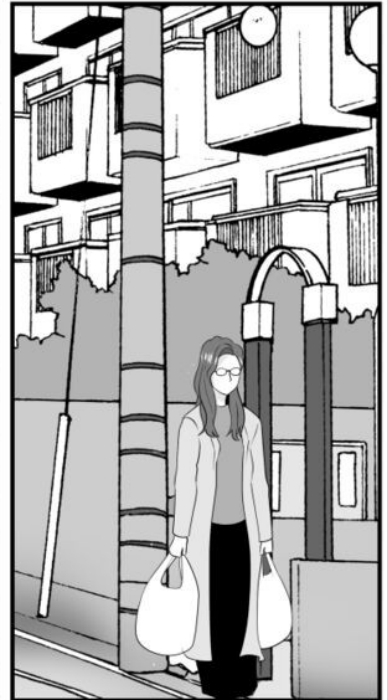
ガッ

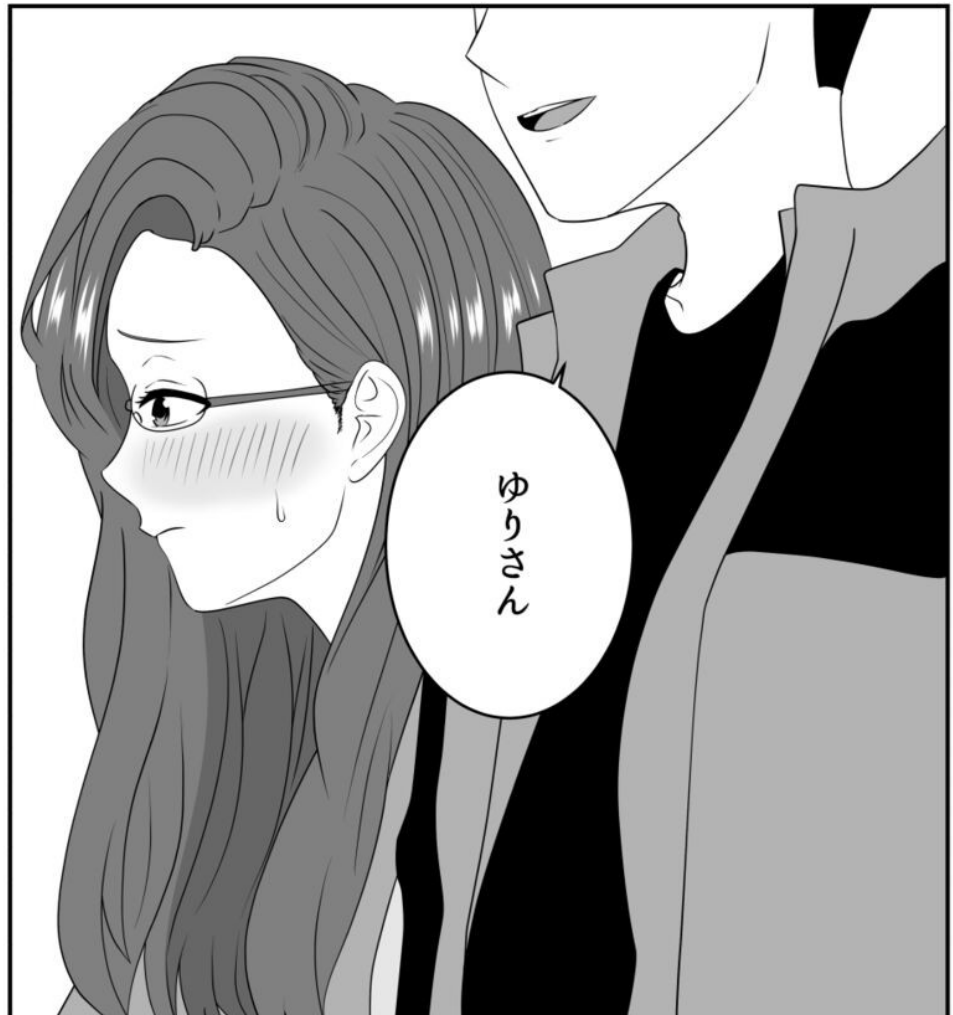
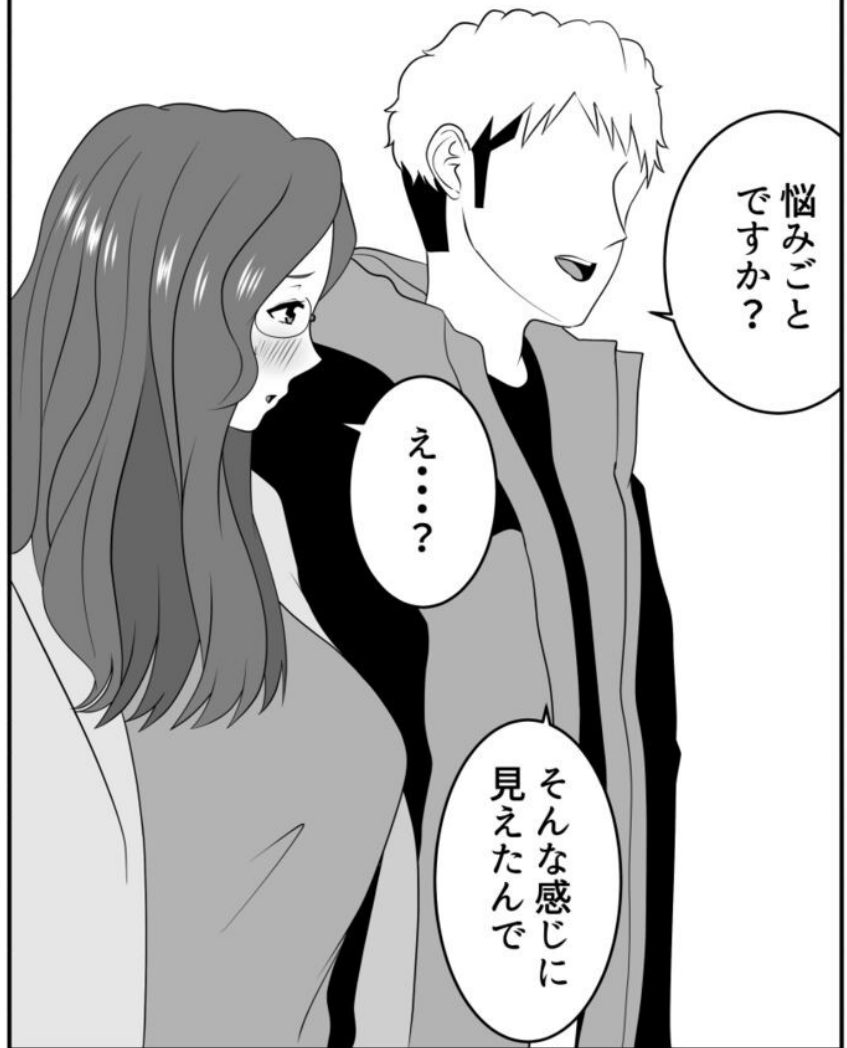
私……

奏多君とのエッチで
女らしい気持ち
蘇ってきてるみたい……

はっ

はあ









ちゅるっ♡

んぷ♡

ははは
綺麗なゆりさんが
こんな淫乱な人
だったなんてW

ちゅるっ♡

ちゅるっ♡

んもっ♡

違うの……これは
奏多君だから……
特別な……♡

えろっ♡

んっ♡



もしかして
俺のチンコが
気に入りました？

んっ♡

ん♡

ちゅるっ♡

ちゅるっ♡

んっ♡

んっ♡

ちゅるっ♡





いいんですか？
ゴムしなくて



お願い……
挿入れてえ……♡



……♡

奏多君の……
大っきいおちんぽ
生で感じたいの♡

じゅぽ



ぬちゅっ

んっ♡

仕方ないですね

特別に生で
挿入してあげます

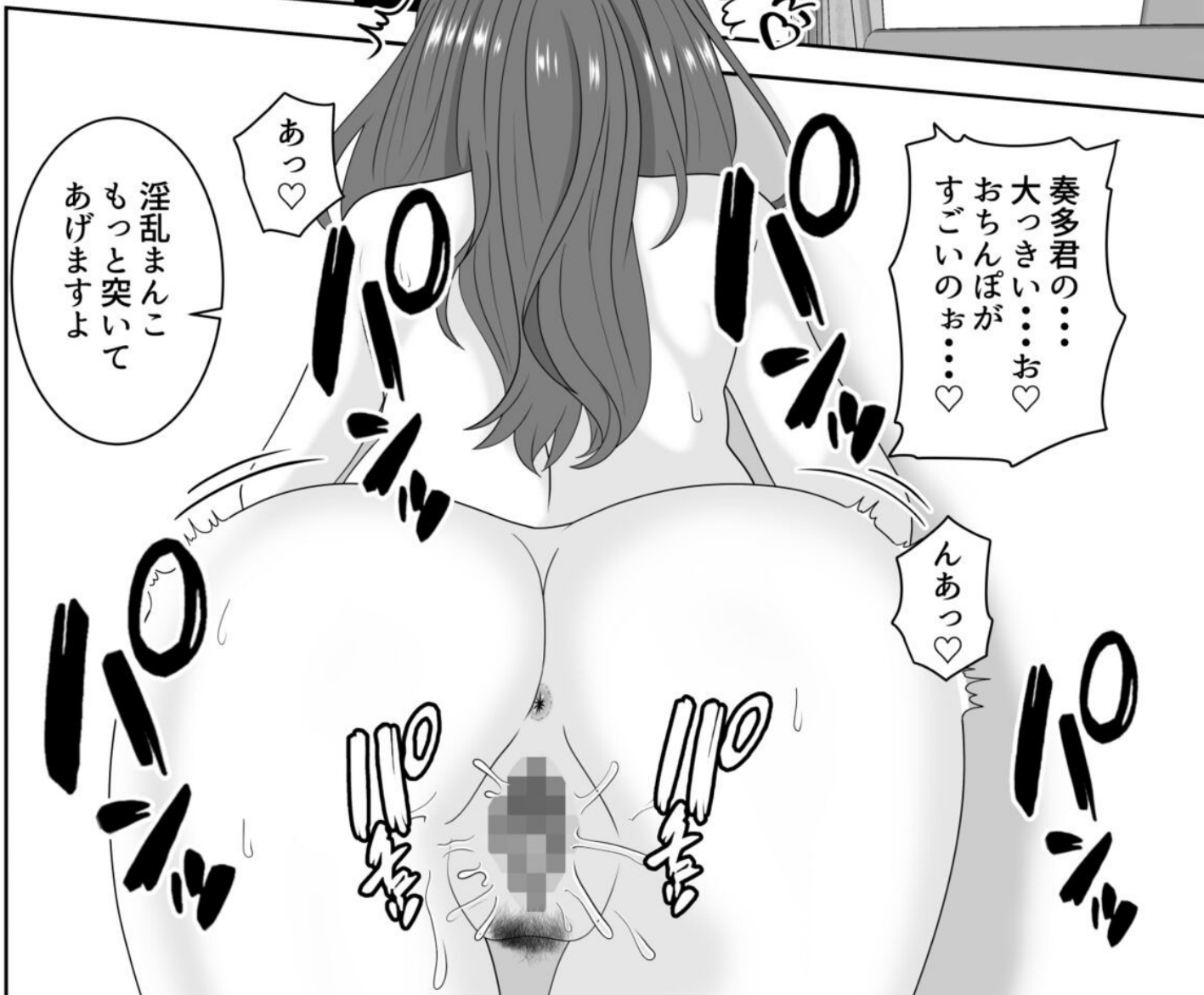
よっ!

あああ♡

ぬちゅっ

ぬちゅっ

ぬちゅっ♡







ああ
イキそ……

あんっ♡

私も……っ♡

そのまま
出してッ♡



膣内
いいんですか？

ああ♡

奏多君の
精子……
欲しいのお♡

あっ♡

いいの……♡
ちようだい♡

んあっ♡





旦那さんのと
俺のチンコ
どっちがいいですか？

あッ♡

あっ♡

あっ♡

そ...そんなの
もちろん...
奏多君のよ...♡

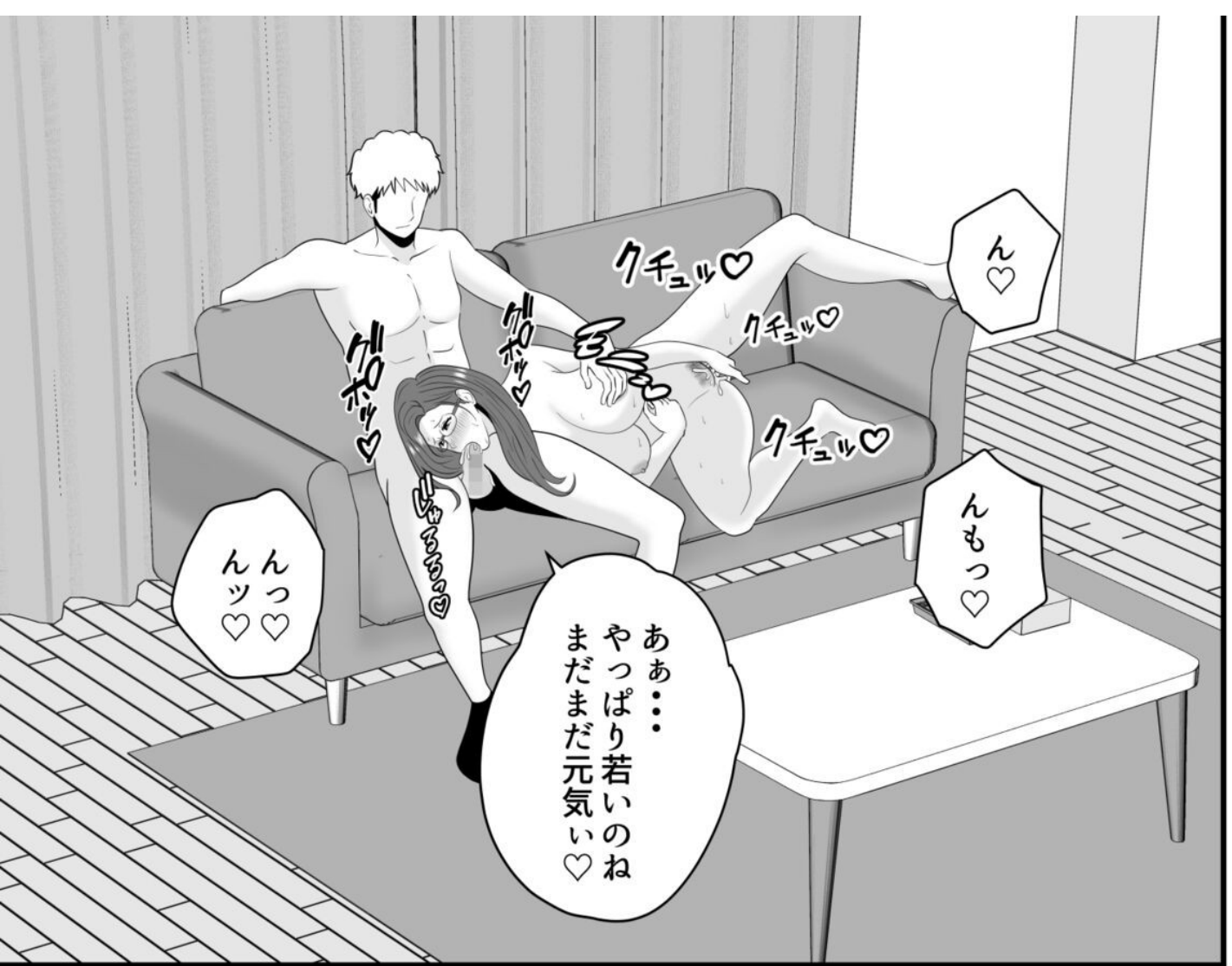


もっと
ギンギンに
できますよ

あああっ♡

だってこんなにも
固くて奥に
当たるだもん...♡

あっ♡
すっごい♡
すっごい♡

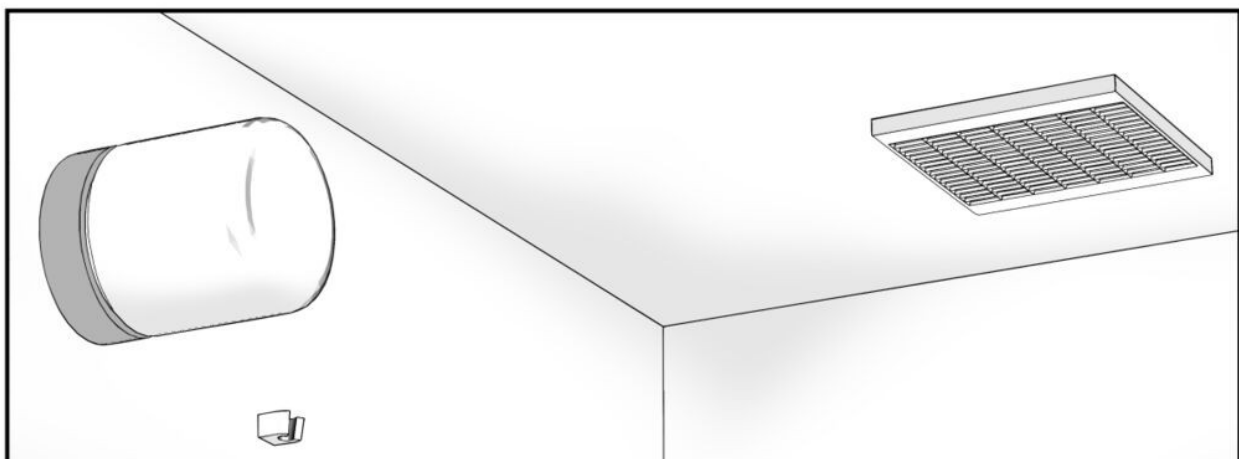






ゆりさーん
そろそろ起きないと
智樹君帰ってきますよーw





智樹も行ったし
そろそろ……♡

わかってますよ

いぢ

いぢ

今日も
しっかり

ゆりさんを
満足させて
あげますよ

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

あとがき

サークル名『studioマカロン』の
萌山ぴーまんと申します。

この度は本作をご購入いただきありがとうございます！

今回は5作品目となります。

今回の原稿でもまた新たな気付きなどを多く発見できたので
また次の作品に活かして、もっとクオリティーの高い作品を
制作できるように努力いたします。

ではまた、次の作品もよろしくお願ひします！

よければ作品の評価や、コメントなどを頂けると嬉しいです。

Twitterアカウントあるので
よければこちらも気軽にフォローしてください
(@moeyamap_man)

本作をご購入いただき本当にありがとうございました。